

清

せい せい

政

71



『岸田新総裁に期待すること』



神道政治連盟京都府本部

副本部長 大垣 守 弘

平素より、神道政治連盟京都府本部の活動に、ご理解ご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。また、本年七月には、神道連京都府本部創立五十周年記念式典が開催され、コロナ禍の制限下でありましたが、節目の大会にご参加ご尽力された皆様に、改めて感謝申し上げます。

延期されておりました東京オリンピックが、緊急事態宣言下でありましたが無事に開催され、九月末には全国各地の宣言も、ようやく解除となりました。さらに、日本国内でもワクチン接種が進むにつれて、様々な日常生活に影響を与える制限が緩和され、経済活動が再開されつつあります。久しぶりに、少しの安堵と明日への期待を感じるとともに、今後の日常への回帰が、慎重になされることを望むばかりです。

政治に目を移すと、十月の自由民主党総裁選挙で選出された岸田文雄氏が、第一〇〇代の総理大臣に任命され、十月三十一日には衆議院議員選挙へと、こちらも節目の年となりました。あらためて、神道連の基本方針である「神道の精神を国政に、日本の心を政策に」を噛みしめながら、今後の日本の行方に、正しい判断と行動が必要だと、痛感しております。

さて、日本における官民のデジタル化の遅れに対応すべく、九月にはデジタル庁が設置されました。世界の先進国と比べて遅れが顕在化していましたが、行政事務の情報システムの整備により、リスクのないより良い環境が整えられ、国民・事業者の利便性の向上が加速度的に進むことが、その目的と伺っております。身近なところでは、マイナンバーカードの普及を進め、健康保険証としての運用や、運転免許証との一体化などが進められるようです。国民が行政サービスを広く

安全に享受できるシステムが構築され、まず、私たちが使いこなせる、新しいデジタル時代の到来を期待するところであります。

デジタル化につきましては、子どもたちが使用する学校の教科書にも進められており、義務教育では、令和七年までに学習者用デジタル教科書の普及率一〇〇%が目標に掲げられました。しかし、これは単にデジタルにすればよいということではなく、まず第一に、子どもたちの心身に与える影響が危惧され、教育現場や自治体の不安の声も広がっています。将来の日本を担う、発達段階にある子どもたちにとって、いつ、何をどう学ぶことが必要か、様々な観点から、十分な検証が進められるべきではないでしょうか。

新しいことを始めるには、様々な抵抗もあります。が、スムーズに新規の事業が社会に行き渡るためには、私たち受け入れる側も柔軟な思考が必要であるとともに、急ぐべきことと、じっくり取り組むべきことを、しっかりと見極めることが最も肝要だと考えております。

世界には、コロナ禍のパンデミックだけではなく、日本・中国等の急激な少子化、地球温暖化による環境問題、貧困層の拡大と経済格差など、大きな問題が山積しております。SDGs（持続可能な開発目標）にあるように、私たちが毎日できる小さなことの積み重ねが、日本の心を守り、日本、そして私たちの未来を創ると信じ、自ら考え、行動できる人でありたいと考えます。どんな世の中になっても、人と人との結びつきを大事にし、相手を思いやる心を大切にして、今後の神道連での様々な活動を、皆様のお力添えをいただきながら、進めてまいりたいと思っております。

最重要課題の拉致問題

神道政治連盟国会議員懇談会 副幹事長

参議院議員 比例（全国）区選出

山谷 えり子



解散から投開票までが戦後最短となった総選挙が終わった。

おかげさまで、岸田総裁が目標としていた【与党で過半数超え】をクリアし、新たな「自民党」の仲間らと共に一層気を引き締めて、国民皆様のために力を尽くしていきたい。

総選挙に突入する解散日直前に、怒りに震える出来事があった。

野党議員による「拉致問題は本当にあるのかどうか、ないんじゃないか」、「今は生存者はいないと思う。拉致生存者がいると思っっている人はたぶん自民党でも一人もいないと思う」という発言があったことが明るみに出た。

私が本部長をつとめる自民党の拉致問題対策本部で緊急会合を開き、出席議員から多数要請があった本部長声明を発売した。

わが党に、そのような考えを持つ議員はいないこと、政府の方針とは全く異なることなどを

記者会見でも伝えた。

わが党は、選挙公約でも「首脳会談の実現など、あらゆる手段を尽くしすべての拉致被害者の即時一括帰国を求める」と明記している。

岸田内閣においても、拉致問題は「最重要課題」に位置づけられている。

平成十四年十月十五日に北朝鮮による拉致被害者五名の方々が帰国してから、今年で十九年の歳月が流れた。

あの日、飛行機のタラップから蓮池薫さん、祐木子さん夫妻と、地村保志さん、富貴恵さん夫妻、曾我ひとみさんの五人が降りてくる光景が今でも鮮やかに浮かび、重く閉ざされた扉がやっと開かれたような感覚を覚えたことを昨日のことにように思い出す。

平成十六年には、蓮池さん御夫妻と地村さん御夫妻のお子さん五人と、曾我さんのご主人とお子さんが帰国し、これから一気に拉致被害者

全員の救出につながるものと、ご家族、関係者はじめ国民の期待も高まったが、残念ながらその後、事態の進展はない。

帰国者五人が家族と再会する様子を横田めぐみさんの父、滋さんは泣きながら写真を撮り続けていらつしやう。どんな思いで、シャツターを押し続けていたのかを考えるとただで胸が痛む。その後、ご高齢となったご家族が一人ふたりと他界され、とうとう滋さんも昨年六月にご逝去なさいました。

拉致被害者ご家族はじめ関係者らは、心血を注いで一刻も早い帰国実現にむけ活動してきた。帰国された地村さんは「日本で救出活動が行われたからこそ、私たちは今、この場にいることができる」と話されたことがある。

今いちど、国をあげて皆が心を一つにし、拉致被害者救出のために一丸となって進んでいきたい。



参議院議員選挙出馬のご挨拶

京都市会議員 吉井 あきら



神道政治連盟京都府本部の皆様方には、「神道の精神を国政に日本の心を政策に」を合言葉に、尊いご活動をご推進いただいておりますことに対し深甚なる敬意を表しますとともに、日頃より力強いご支援ご厚情を賜っておりますことに心より感謝申し上げます。

私事ではありますが、この度、自由民主党京都府連の同志のご推挙をいただき、来年夏の参院選京都選挙区の候補予定者として挑戦させていただきます運びとなりました。あらためて、その責務の重さに身の引き締まる思いであります。

京都市会議員として四期十四年の経験を活かし、悠久の歴史を紡いできた京都、素晴らしき日本を次世代に引き継ぐことこそ、今を生きる私たちの使命であります。

私の基本政策には、「自分たちの国は自分たちで守る。我が国の歴史と伝統を胸に」、「秩序ある資本主義社会の構築へ経済の原点に立ち返る」、「新型コロナウイルス感染症に立ち向かう」

という三本の柱があります。

先人たちの尊い犠牲の上に成り立つ我が国は、自分たちの国を自分たちで守ることができ、外交・安全保障施策の構築をはじめ、今の時代に即した憲法や各種法律整備を、今こそ考えるべき時だと考えています。

また、経済の言葉の原点は『経世済民（世を經め、民を濟う）』であり、『新自由主義』を修正し、真面目に頑張っている人が報われる、公正で秩序ある資本主義社会を構築しなければなりません。出すべき時には大胆な財政出動を実施し、中間層の所得を上げることが、国民の心に平安と『絆』をもたらすと考えます。

そして新型コロナ対策です。ワクチン接種に加え、公費によって万全の医療体制を整備することが急務であります。来るべきポストコロナ時代に備えるためにも、積極果敢に大胆に財政出動を行い、事業者を守る施策を実現して参ります。

令和三年十月四日、自由民主党の岸田文雄総裁が、第一〇〇代内閣総理大臣に任命されました。岸田総理は、「国民の声を丁寧聞き、政策に反映させていくこと。個性と多様性を尊重し、みんなで助け合う社会を目指すこと」を約束されました。そして、政策の五つの柱として、新型コロナウイルス対策、新しい資本主義の実現、国民を守り抜く外交・安全保障、危機管理の徹底、東日本震災からの復興、国土強靱化を打ち出されました。

私も自由民主党の同志の皆さんとともに、先輩諸氏のご指導を仰ぎ、世界に誇る日本の伝統文化を次代に伝える為にも、神道政治連盟の皆様と手を携えながら邁進して参る所存です。

結びにあたり、神道政治連盟京都府本部の更なるご発展と皆様方のご健勝ご多幸をお祈り申し上げます、私のご挨拶とさせていただきます。

第四十九回衆議院選挙の総括

第四十九回衆議院選挙が十月十九日公示、十月三十一日投開票の日程にて執り行われた。

今回の選挙は、立憲民主・日本共産両党が党の基本政策を棚上げし、手を組み政権交代を目指す野党共闘と、それを迎え撃つ与党との戦いであり、日本の将来を占う選挙となったと言っても過言ではない。立憲民主党京都府連は、共産党との共闘を最終的には拒否することを表明したが、当初は一区の穀田恵二氏を野党統一候補することを前提に、立憲民主党の前職らがいる三区と六区の候補者調整に向けた協議を呼び掛けており、結果この区からの共産党の公認・推薦の立候補者は出なかった。事実上、自民・公明の与党と立憲民主・共産野党共闘の一騎打ちの戦いとなった。その結果はすでに報道にてご承知の通り、全国的には自民党単独で絶対的安定多数を維持し、議席を減らしたものの、野党共闘には撃ち勝ったとされる。しかし、我が京都に目を転じてみると、一区の勝目康候補と五区の本田太郎候補以外小選挙区での議席を失い、辛うじて四区の中中英之候補のみが比例で復活当選という、議席半減の大敗を喫し、全国的な傾向と相反する様相を呈した。

尚、当本部では毎回全選挙区から自民党議員を国会に送りだすことを目標に選挙活動を行っ

ているが、今回三区から立候補した自民党候補者は、当本部が推薦する為の条件には合致しなかったため推薦は行わず、応援活動も行わなかった。当該候補者は「同性愛者など性的少数への理解増進を図る法案（いわゆるLGBT法案）」成立に向け、野党議員とともに推進派として積極的に活動していた。この法案は、多様性を認め合う社会の要請に応じ元々自民党内でも議論されてきたが、公明党や野党が求めた「性自認（自分の性を自己申告できる）」まで採り入れようとしたことにより保守対りべラルで議論が紛糾し、結局廃案となった。被害者擁護とは名ばかりで、「差別された」と感じれば差別だと認定されてしまう過剰な逆差別法案に変節し、その主張は、神政連が反対を表明している「夫婦別氏姓法案」と同質であり、さらには女系天皇容認にまで波及しかねない危険な人権過剰擁護法案として、かねてその動向を警戒していた。

例え自民党公認の候補者であっても、支持政党の左傾化に加担す

る議員については、斯界の保守層支持者の離反を招き、神政連として相容れられない。しかしながら、同区内の神社の中には、当該議員との個別の関係や諸事情があるうとの判断から、三区については地域の各々の神社と会員に対応をお任せすることにした次第である。

	候補者名	所属	今回得票数	前回得票数
1区	当 勝目 康 (新人)	自由民主党	86,238	(伊吹文明) 88,106
	比 穀田恵二 (前職)	日本共産党	65,201	61,938
	比 堀場幸子 (新人)	日本維新の会	62,007	
2区	当 前原誠司 (前職)	国民民主党	72,516	65,480
	比 繁本 護 (前職)	自由民主党	43,291	40,336
	比 地坂拓晃 (新人)	日本共産党	25,260	
3区	当 中 辰哉 (新人)	れいわ新選組	7,263	
	比 泉 健太 (現職)	立憲民主党	89,259	63,013
	比 木村弥生 (現職)	自由民主党	61,674	56,534
4区	当 井上博明 (新人)	維新の会	34,288	
	比 北神圭朗 (元職)	無所属	96,172	71,068
	比 田中英明 (現職)	自由民主党	80,775	83,236
5区	当 吉田幸一 (新人)	日本共産党	40,603	
	比 本田太郎 (前職)	自由民主党	68,693	60,277
	比 山本和嘉子 (前職)	立憲民主党	32,108	
6区	当 井上一徳 (前職)	無所属	21,904	19,586
	比 山内 健 (新人)	日本共産党	16,375	
	比 山井和則 (前職)	民主党	116,111	100,338
6区	比 清水鴻一郎 (元職)	自由民主党	82,004	(安藤裕) 101,977
	比 中嶋秀樹 (新人)	維新の会	58,487	

自由民主党候補者の ■小選挙区当選 ■比例代表当選 ■落選

令和三年度 活動方針及び活動計画

令和三年六月二十九日開催

第一回代議員会にて承認

活動方針

畏くも天皇陛下におかせられては、このような困難な状況下にあっても、常に国民に心を寄せられ、多くの人々を労い励まされ、その安寧を祈り続けておられることは誠に力強く、有り難い限りである。古来より我が国は疫病や大きな自然災害に幾度も見舞われてきたが、其の都度、神々への祈りを通じて国民が丸となって難局を乗り越えてきた歴史がある。コロナ禍の早期終息を願うことは言うまでもないが、この機会に一層の家族の絆と神社を中心とした地域社会の大切さを再認識し、この国難を乗り切っていきたい。

さて、皇室の御事については、昨年、十一月八日の「立皇嗣の礼」を以って御代替に伴う一連の諸儀式が終了した。政府は皇室典範特例法に対する国会付帯決議の「安定的な皇位継承を確保するための諸課題、女性宮家の創設等」について、有識者会議を設置して本格的な検討を開始した。我々は、万世一系の皇室の伝統を護持するべく、男系男子孫による皇位継承有資格者の確保に向けた国民への理解と世論の形成に鋭意取り組んでいく。また、「女性宮家」の創設には反対するが、女性皇族がご結婚後も皇室活動に資する方途を考え、皇族の御公務のあり方等について中央本部と連携し関係機関に働きかけていきたい。

継続事業となっている憲法改正については、政権交代後も審議停滞をしている衆議院憲法審査会に対し、審議を促進させ、憲法改正案の早期発議を目指すよう、京都選挙区自民党衆参両議員に対し強く働きかけるとともに、「自衛隊」の明記、「緊急事態条項」を新設する必要性の機運

を民間に醸成して、来るべき国民投票に備え、その過半数獲得を目指す。併せて、今秋に行われる衆議院選挙では、憲法改正を党是と掲げる自民党公認候補者を推薦し、六選挙区すべてにおいて改憲派議員を国会に送るよう、万難を排して挑みたい。

ここに来て夫婦別氏（姓）制に付いて、国会での議論が再燃してきている。これは、自民党内でも意見が別れるところであり、一部の世論調査では、別姓賛成へと意図的に誘導するような動きも見受けられる。家族の絆を破壊する夫婦別氏（姓）制には反対しなければならぬが、現状を鑑みるに、既に多くの企業や役所等では結婚後も旧姓の継続使用が通称として認められている現状であり本意ではないが、別姓要望者には通称使用を促し、社会制度としては同氏制を維持して、通称使用の拡大で対処できるように要望をしていきたい。対応次第では改正する必要性はなくなり、かえって改正した方が様々な問題が生じてくる危険性があることを広く世論に訴えていく。

昨年夏に教科書検定に合格し採択された中学校の新たな歴史並びに公民教科書が本年より使用されているが、一部の教科書には、強制連行をイメージさせる、「従軍慰安婦」の文言が復活する等、史実に反する不適切な表現が用いられている。また今夏には高等学校用の教科書の採択が行われ、改定された高等学校学習指導要領に基づき、世界史と日本史の近現代を総合した新しい『歴史総合』が必須として採択されることになっている。新しい歴史総合の教科書が公正に採択されるよう環境づくりを目指すとともに、良書の採択を支援していきたい。

その他「靖國神社公式参拝」「政教関係訴訟対策」「国家主権と領土をめぐる諸問題」等、我々を取り巻く問題は山積するが、その都度、中央本部、近畿地区連絡協議会、京都選挙区自民党衆参両議員、京都府議会・

京都市会両神道議員連盟、日本会議京都と連携を密にして、これらの問題に対応していきたい。特に京都地裁にて係争中の「大嘗祭参列等住民訴訟」に付いては地元で行われていることでもあり、その動向に注視し、情報収集に努めたい。

中国武漢を発生源とする新型コロナウイルスは、瞬く間に世界全土に広がり、我が国においても、三度の緊急事態宣言が発せられ、社会生活と経済に様々な困難をもたらした。神社界もさることながら、当本部も昨年度は五十周年という節目の年を迎えるにあたり、数々の周年事業を企画していたが、その殆どを中止せざるを得なくなつた。今日に至つても感染鎮静化の時期を推測することは難しいが、基本的に通例の事業を様々な対策を講じながら、出来る限り実行に移していきたいと考えている。皆様方の倍旧のご支援ご協力をお願い申し上げる次第である。

活動計画

推進事業 (一部抜粋)

- ① 皇室の尊厳護持運動
- ② 創立五十周年記念事業
 - ・ 周年研修 (福島県の復興状況視察と交流会の開催)
 - ・ 記念誌の発行
- ③ 英霊顕彰並びに慰霊
 - ・ 京都府戦歿英霊追悼慰霊祭の斎行 (十一月)
 - ・ 沖繩京都の塔慰霊参拝団による英霊追悼行事の遂行 (十二月)
 - ・ 靖國神社における京都府出身戦歿者慰霊祭の斎行 (三月)
- ④ 会員大会の開催
- ⑤ 選挙に向けた取り組み
 - ・ 衆議院選挙 (十月)
 - ・ 城陽市長選挙 (九月) ・ 京丹波町長選挙 (十一月) ・ 京都府知事選挙 (四月)

- ・ 綾部市長選挙 (一月) ・ 南丹市長選挙 (四月) ・ 与謝野町長選挙 (四月)
- ・ 長岡京市議会選挙 (十月) ・ 京丹波町議会選挙 (十一月) ・ 南丹市議会選挙 (二月) ・ 井手町議会選挙 (四月) ・ 与謝野町議会選挙 (四月)
- ・ 参議院選挙 (七月)
- ・ 自民党京都府連との連携
- ・ 署名活動 ・ ポスター配布と掲示 ・ 演説会への参加動員 ・ 友好団体との協力等

⑥ 憲法改正に関わる情宣活動

- ・ 京都選挙区自民党衆参両議員、京都府議会・京都市会神道議員連盟、日本会議京都、美しい日本の憲法をつくる京都府民の会と連携した活動を展開する。(未定)

- ・ 憲法改正問題の正しい情報を得るための講演会の開催 (未定)
- ・ 京都の躰をかたる女性の会と連携し、女性の意識向上に向けての方策に取り組む。(未定)

⑦ 夫婦別氏(姓)制等、家族制度改変問題への対応

- ・ 家族のきずなを破壊する夫婦別氏(姓)制に付いては要望者には通称使用を促し、社会制度としては同氏制を維持して通称使用の拡大化で対処するよう働きかけていく。

⑧ 会報「清政」の発行 (十二月、六月の年二回発行)

- ⑨ 機関紙「せいせい瓦版」の発行 (適宜) 来る国民投票に向けて憲法改正の必要性を訴えるのには有効的

⑩ 神政連広報事業の充実

- ・ 時局に応じたホームページの更新。
- ・ 時局問題を敏速に掲載。会員・世論の喚起を促す。
- ・ 京都の躰を語る女性の会専用ページの随時更新。活動の充実を目指す。

⑪ 会員の増強

- ・ 支部と連携の下、組織拡充・拡大に努め、京都の躰をかたる女性の会とも連携、若い世代や女性を中心とした会員増強を図る。
- ・ 政策推進に資するため青年隊組織の充実を図り、問題発生時には必要に応じて早急に対処。

- ⑫ 関係団体との協力
その他

創立五十周年 記念大会

と き…令和三年七月五日

と ころ…リーガロイヤルホテル京都

第一部 式典

当本部は昨年創立五十周年の佳節を迎え、様々な記念事業を計画していたが、その締めくくりに事業である記念式典・記念講演会を行う記念大会が、去る令和三年七月五日、第三十五回大会に代えて開催された。会場のリーガロイヤルホテル京都朱雀の間では、コロナ禍を鑑み座席のソーシャルディスタンスをとれる範囲の参列者数になるよう各支部への案内数を大幅に絞り、消毒液の完備など、感染対策を一念に行い準備した。式典には、神道政治連盟打田文博会長、田中恆清神社庁長、西田昌司参議院議員をはじめ七十名余りのご来賓の臨席を賜り、関係者ら二百名が出席して盛大に開催された。

第一部の大会は、稲本副幹事長の司会で進行し、国旗儀礼、後藤重和副本部長の開会の辞、神宮遙拝、国歌斉唱と続き梶本部長が「教育勅語」を厳かに奉読した。

式辞では梶本部長が挨拶。コロナ禍にも拘わらずご来駕いただいた皆様に感謝の言葉を述べ、今後行われる衆議院選挙及び来年の参議院



選挙への抱負を述べ挨拶とした。

次に、功労者表彰が行われ、代表として上支部の田中義二氏が梶本部長より表彰状が授けられた。併せて、次に感謝状の贈呈があり、永年に亘り党本部主催の沖繩の塔戦歿英霊慰霊祭にご参加頂き「常永遠の舞」を奉納頂いている京都女子神職会六人部美恵子会長に感謝状が贈呈された。

五月から延期となっていた神政連中央本部から京都府神道議員連盟に対して贈られる感謝状の贈呈式が行われ、打田会長より府議員連盟近藤永太郎会長に感謝状が贈呈された。その後、来賓を代表して打田文博会長より参議院議員、山恒清京都府神社庁長、西田昌司参議院議員、山

谷えり子参議院議員より鄭重なる祝辞を頂戴した。祝電披露の後、林秀俊顧問の先導にて聖寿萬歳が行われ、室川副本部長の閉式の辞をもって、第一部式典を終了した。

第二部 記念講演会

「今後の政治課題と憲法改正」

講師 元内閣総理大臣 衆議院議員

安倍晋三 先生

本日は神道政治連盟京都府本部五十周年という貴重な機会に講演をさせて頂くことを大変光栄に思う。

私は、神道連国会議員懇談会において長い間事務局長を務めさせて頂いた。幹事長は京都の大御所伊吹文明先生だった。第一次安倍政権の時も事務局長兼内閣総理大臣だったが、その後会長に就任することになり、打田会長、田中庁長にもお世話になった。

私は第一次政権を作ったときに失敗をした。第二次政権の際はその失敗が役に立った。私の第二次政権の時は、行き過ぎた円高で今よりも三割倒産件数が多かったという時代で、どんなに頑張ってもなかなか就職できないという日本社会だった。そこで私は、いわゆる後に「アベノミクス」と言われた三本の矢の政策でこの経済状況に挑んだ。いわば金融政策を含めて初めてマクロ政策を掲げて選挙戦を戦い、勝利の

中でその政策を進めていった。

それまで、政府は日本銀行と距離を取らなければいけないという風潮だったが、総理就任前だった私が「政府と日本銀行は協力して政策的な目標を共有するべきだ」と講演で発言すると、その次の日から株価は上昇し円高も是正された。もちろん金融政策の具体的な方法は日本銀行に任せねばならないが、日本銀行と政府が協力することは極めて重要なことだと考えた。

経済は確実に回復していったが、その一番の理由は観光を大きな産業として成長させたことだ。残念ながら今その観光がコロナ禍で落ちていくが、ここはしっかり国が支えていく必要があるし、コロナ禍のあとに経済がV字回復する大きな起爆剤になるのがやはり観光だろう。

今の状況をどう乗り越えていくのか。これはどう経済対策を打っていくかということだが、大切なことは前述の如く政府と日本銀行が一緒にやるということだ。孫の代に借金をまわすのかという批判は間違っていて、政府と日本銀行との関係は親会社と子会社のような関係だ。勿論副作用もあるが、こういう緊急時は固定概念に囚われない思い切った政策が必要になる。

日本の経済政策、市場主義というのは、欧米の市場主義とは違う。日本は古来より田を耕し、水を分かち合いながら、そして秋になれば五穀豊穡を祈って天皇陛下を中心にそれを神に捧げ祈るといふ民だ。時に病を得て仕事に出られない人がいればそれを皆で助け合うという、いわば日本に根付いた農耕民族として培ってきた穂の国の市場主義を目指していくべきであり、今こそ経済が厳しい方を支援していくべきだ。

もう一点私たちに課せられた重要な使命は、国を護る、日本を取り戻すということだ。その為にはまず失われた日米同盟の絆を取り戻すことが肝要だ。日米同盟は、五条と六条が肝だ。日本がもし外国から侵略されたら日米で共同対処することになっているが、そう書いてあっても実際に米国の若人たちが日本のために命を掛ける為には、信頼関係がなければならぬ。信頼関係のない同盟は紙切れと同じだということ私達たちは認識しないといけない。



我が国は、飛躍的に軍事力を高める中国と対峙していかねばならない。それには日米同盟を回復強化しなければならぬ。その為に集団的自衛権の行使について、猛烈な反対を受けながらも憲法解釈を変えた。中共は立党百年を迎え、台湾の統一を目標にしている。しかし、中国も米国と戦争をしたいとは思っていない。敵が自分たちよりも強力な軍事力を持っている以上何も出来ないという計算をするはずだ。

そこで私達がやるべきことは何かというところ、今日の演題の中にもある「憲法の改正」だ。やはり日本人自身の手で私達の国を守り抜いてい

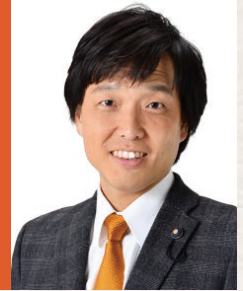
くという意思を表明する上においては、憲法改正は大変意味深いものがあり、その中でも九条を改正することは大変重要なことだ。いよいよ中身について議論をしていかねばならない。私達たちは、自己防衛能力を高めていかねばならない。安倍政権においてははずっと防衛費を増やしてきた。それと同時に、一つの大きな課題として日本が打撃力を持つかどうかということだ。抑止力を持つためにも必要なことではないだろうか。議論を深めねばならない。米国の考え方はここ十年で相当変わった。もはや世界の警察ではないと。日本を護るために米国だけで行動してくれることを期待してはいけない。一緒に行動出来るようにしなければならぬ。

「自由で開かれたインド太平洋」という構想がある。これはまさに日本が初めて世界に示した一つの大きな戦略であり構想だと言ってもいい。今までこういった経済的な面を考えを示せなかつたのは、憲法前文が原因の一つだと思っ。今の憲法はGHQが短時間に作ったものだ。今度改正すれば部分的であっても始めて国民が作った憲法になるのだと思う。神道政治連盟の皆様には常にこの考え方のもとに、運動を展開していただいていることを心から御礼を申し上げます。最近ややもすれば「自民党は保守政党としてはどうなのか」という意見があることも事実だ。だから、経済政策や外交政策ではなく、根本的に日本に対する考え方、歴史に対する視点、未来をどうやって切り開いて行くのか、基本的な骨格について、自民党らしい姿を示してこの選挙を勝ち抜いていきたいと思う次第である。今後ともご支援をお願いしたい。



京都府神道議員連盟 京都市会神道議員連盟

会員の ご紹介



京都府議会
二之湯真士先生

神道政治連盟京都府本部の皆様には、平素より世界に誇る日本の伝統や文化を後世に正しく伝えることを目的に、政策提言等様々な活動に取り組んでおられますことに感謝申し上げます。

私も縁あって、学生時代から禊行や神楽の奉納等を通じて神道に学ぶ機会に恵まれ、不十分ながら、敬神崇祖の誠をもって、共生・調和を理念に政治活動に務めて参りました。

さて目下、地球規模で「先進国と途上国」「都市と地方」「持てる者と持たざる者」等の格差拡大、経済活動が引き起こす気候変動による自然災害の頻発、新型コロナウイルス感染症の拡大等、様々な危機に直面しています。国内でも、地域共同体や家族・親族における人間関係の希薄化、孤独の問題等が深刻化しています。西洋文明が世界をけん引し、それに追いつこうと努めた我が国も、国家運営と世界平和への貢献の方法を再考すべき時でしょう。その際に顧みられるべきは、世界で最も長い歴史のうちに先人が蓄積された伝統的な神道精神だと思えます。私もその立場から政治の場で職務に励みますので、皆様には引き続きのご指導ご鞭撻の程宜しくお願い申し上げます。

末筆ながら貴連盟の益々のご発展をお祈り申し上げます。



京都市会
下村あきら先生

神道政治連盟京都本部の皆様におかれましては、平素より日本の伝統や文化の継承に、ご尽力賜っております事、また、新型コロナウイルス感染症の早期の終息を願い、御祈念いただいていることに深甚なる敬意と感謝を申し上げます。

折しも、この令和三年においては、新型コロナウイルスの影響により延期となっていた、東京オリンピック・パラリンピックが開催されました。

このオリ・パラでは、数多くの各国代表選手の中、我が国の選手が大いに活躍され、コロナ禍で塞ぎがちな社会に、勇気と希望をもたらしてくれました。

また、同時に世界に誇る日本の伝統や文化を発信する好機となり、更には、我々自身も、遠い祖先の時代から大切にしてきた文化や伝統等の価値を改めて再認識し、自国の文化に誇りを持つきっかけとなったのではないかと考えております。現在においても、コロナ禍で予断を許さない状況は続きませんが、このような時にこそ、一人一人がともに祈り、苦難を分かち合っていくことが大切であります。

私自身、常日頃から、地元下京区の神社等に参拝し、例祭や大祓等にお招きいただいた折にも、地域の安寧と発展のため、皆様方とともに、お祈り申し上げます。

結びに、神道政治連盟京都本部の益々のご隆盛を祈念するとともに、京都の未来のために、市会議員としてその職責を全うしてまいります。

令和3年

- 7月1日 設立50周年実行委員会主任会議 16名出席〈於 京都府神社会館〉
- 7月5日 創立50周年記念式典 約260名出席〈於 リーガロイヤルホテル京都〉
- 〃 創立50周年記念講演会 講師 衆議院議員 安倍晋三 先生
- 〃 清政70号発行
- 7月8日 日本会議京都運営委員会 梶本部長以下関係者出席〈於 京都府神社会館〉
- 7月15日 美しい日本の憲法をつくる国民の会代表者会議 梶本部長 中嶋事務局長出席
〈於 衆議院第一議員会館〉
- 7月16日 神道政治連盟中央本部全国選挙対策委員会 梶本部長出席〈於 神社本庁〉
- 7月20日 京都女子神職会設立50周年記念奉告祭 梶本部長参列〈於 京都府神社庁神殿〉
- 8月28日 西田昌司参議院議員政経パーティー 梶本部長以下5名出席〈於 ANAクラウンプラザホテル〉
- 9月11日 監査委員会 梶本部長以下10名出席〈於 京都府神社会館〉
- 〃 京都府本部役員会 25名出席〈於 京都府神社会館〉
- 9月23日 京都市議員桜井泰広君と左京区の未来を創る会 梶本部長出席〈於 京都市国際交流会館〉
- 9月28日 令和3年 第2回定例代議員会 52名出席〈於 京都府神社会館〉
- 9月29日 綴喜支部神社総代会総会 梶本部長出席〈於 石清水八幡宮研修センター〉
- 9月30日 京都府神社庁神宮大麻暦頒布始奉告祭 梶本部長参列〈於 京都府神社会館〉
- 〃 第31回神宮大麻頒布増強推進懇談会 関係者出席〈於 京都府神社会館〉
- 〃 第19回神宮大麻実務者研修会 関係者出席〈於 京都府神社会館〉
- 10月19日 第49回衆議院議員総選挙公示
- 10月21日 第27回全国戦歿学徒追悼祭 後藤副本部長参列〈於 若人の広場〉
- 〃 勝目康個人演説会 伊吹元衆議院議長応援演説 梶本部長以下関係者出席
〈於 西陣中央小学校〉
- 10月24日 繁本護街頭演説会 菅前総理応援演説 梶本部長以下関係者出席〈於 高野イズミヤ〉
- 10月25日 自民党京都府連街頭演説会 梶本部長以下関係者出席〈於 京都市役所前〉
- 〃 繁本護街頭演説会 安倍元総理応援演説 梶本部長以下関係者出席〈於 百万遍交差点〉
- 10月26日 清水こういちろう個人演説会 梶本部長以下関係者出席〈於 八幡市文化センター〉
- 10月27日 本田太郎個人演説会 梶本部長以下関係者出席〈於 舞鶴西総合会館〉
- 10月28日 清水こういちろう総決起集会 関係者出席〈於 文化パルク城陽〉
- 10月29日 田中英之個人演説会 梶本部長以下関係者出席〈於 桂小学校〉 高市総務会長
- 〃 乙訓支部神宮大麻暦頒布始奉告祭並び総代会総会 室川副本部長出席〈於 離宮八幡宮〉
- 10月31日 第49回衆議院議員総選挙投票
- 11月1日 第49回衆議院議員総選挙当選議員祝電打電
- 11月17日 京都府神社庁新嘗祭 関係者参列〈於 京都府神社会館〉
- 〃 京都府神社庁事務連絡会 関係者出席〈於 京都府神社会館〉
- 11月19日 京都府戦没英霊追悼慰霊祭〈於 京都ガーデンパレス〉
- 〃 清政71号発行

時事一滴

副幹事長 稲本高統

▼「団塊の世代」「ゆとり世代」・・・それぞれの時代に「〇〇世代」という括りがあります。現在の若者は「Z世代」というそうです。

概ね十代前半から二十代前半の年齢で、インターネットが当たり前のよう存在する中で育ち、情報が溢れているため国際問題や社会問題に対する意識も高く、スマホをはじめデジタル機器の扱いはお手の物、SNSの利用率は圧倒的多数の年代です。

▼「未来選択」「日本再生」「政権交代」など、様々なキーワードが飛び交った第四十九回衆議院議員総選挙の投票日から、一夜が明けました。

今回の投票率は約五十六％。前回よりは微増ですが、戦後三番目の低さとのこと。四回連続で五十％台の低い水準であり、やはりこの投票率の低さは大きな課題であると思います。

今回の選挙では、特に若者に対して「投票へ行こう」という呼び掛けが行なわれているのを、SNSや新聞紙上でも多く目にしましたが、果たして「Z世代」には声が届いたでしょうか。

▼これから先の時代、当たり前前に投票へ行く習慣作りのために、まずは自分の家庭から。我が子や孫と一緒に、投票会場へ行きましょう。本来、大人しか入場できない投票会場に入るということは、小さな子供にとってはワクワクする貴重な体験でしょう。

そうして毎回投票に行く家族や親の背中を見つけてきた子供は、きっと自分が大人になっても「選挙には投票に行くもの」という感覚でいてくれるのではないのでしょうか。



神道政治連盟京都府本部会報

清政 第71号

発行日：令和3年11月19日
発行所：神道政治連盟京都府本部
〒616-0022
京都市西京区嵐山朝月町68-8
電話 075-863-6677
編集協力：テンセイ・commons
表紙写真：皇居・桃華楽堂